

令和7年度シラバス

高知県立農業大学校

(令和7年4月)

注意事項

本シラバスは4月1日時点のものです。
外部講師等との調整上、今後変更が生じた場合は掲示等で通知しますので、
その都度修正しながら使用してください。

令和7年度高知県立農業大学校
シラバス（1年生）

もくじ

<教養科目>

社会人基礎力		1
英語 I		2
現代国語		3
体育		4
キャリア形成演習		5

<共通科目>

農業基礎		6
物理基礎		7
化学基礎		8
スマート農業		9
農業簿記		10
6次産業化実習		11
流通研修 I		12
卒論計画		13
環境保全型農業 I		14
土壌肥料学		15

<園芸科目>

農薬概論		16
生物工学		17
作物概論		18
園芸管理学 I		19
園芸管理学 II		20
植物生理 I		21
植物生理 II		22
植物病理学 I		23
植物病理学 II		24
園芸各論 I		25

<畜産科目>

畜産概論		26
家畜栄養学 I		27
家畜飼養学		28
家畜繁殖学		29
家畜育種学		30
家畜生理解剖 I		31
畜産各論 I		32

<実習>

インターンシップ研修		33
農業機械実習		34

授業科目名		社会人基礎力					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	仁淀消防本部、高知ソフトウェアセンター、いの町総務課、高知県トラック協会、SMBCコンシューマーファイナンス、文化国際課						
内容		社会人としての生活力を向上させるための、基礎知識や技術を習得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	4/10	災害と防災（避難経路）			講習	中庭	
2		災害と防災（消火訓練）					
3		災害と防災（災害時避難者受入）					
4	4/11	救急法（心肺蘇生法）			〃	体育館	
5		救急法（心臓マッサージ）					
6		救急法（AED利用）					
7	4/23	災害訓練（起震車体験）			〃	中庭	
8		〃					
9		〃					
10	4/28	クレジットライフのはじめかた			講義	第1教室	
11		消費者教育					
12		年金とライフプランニング					
13	5/2	ベトナムの食文化と消費			〃	多目的	
14		中国の食文化と消費					
15		相互交流に向けて					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材							
備考		救急法は欠課があると資格を授与されません。					

授業科目名		英語Ⅰ					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知SGG善意通訳クラブ						
内容		オランダとの交換留学に対応できる英会話能力を身につける					
回数	月日	内容				方法	場所
1	2/20	英会話演習（語彙の強化Ⅰ）				講義・演習	第1教室
2		英会話演習（語彙の強化Ⅱ）				〃	〃
3		英会話演習（語彙の強化Ⅲ）				〃	〃
4	2/27	英会話演習（朝の挨拶）				〃	〃
5		英会話演習（日中の挨拶）				〃	〃
6		英会話演習（夜の挨拶）				〃	〃
7	3/2	英会話演習（家庭内の会話）				〃	〃
8		英会話演習（友人との会話）				〃	〃
9		英会話演習（学校での会話）				〃	〃
10	3/9	英会話演習（職場での会話）				〃	〃
11		英会話演習（グループでの会話）				〃	〃
12		英会話演習（ネットでの会話）				〃	〃
13	3/13	英会話演習（実践会話）				〃	〃
14		英会話演習（電話応答）				〃	〃
15		英会話演習（会場スピーチ）				〃	〃
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		会話能力、授業態度等総合評価					
教材		Englishi Listening ando Speaking Patterns					
備考							

授業科目名		現代国語					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	18	単位数	1
講師	内部講師						
内容		文章の読解力、作成能力を向上し、自らの意見を表現する能力を養成する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	7/2	漢字、語句			講義	第1教室	
2	7/8	慣用句					
3	7/16	比喻					
4	7/24	ことわざ			〃	〃	
5	9/3	接続詞					
6	9/9	文章読解（解説文）					
7	9/17	文章読解（論文）			〃	〃	
8	9/25	文章読解（長文）					
9	10/1	文章読解（主張文）					
10	10/16	文章表現			演習	P C 室	
11		持論の展開					
12		意見の表現					
13	10/22	小論文作成（構想）			〃	〃	
14		小論文作成（文章構成）					
15		小論文作成（下書き）					
16	10/28	小論文作成（推敲）			〃	〃	
17		小論文作成（修正）					
18		小論文作成（仕上げ）					
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度(40点)、小論文(60点)					
教材							
備考							

授業科目名		体育					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	34	単位数	1
講師	外部講師、内部講師						
内容		バレーボール、バドミントン、卓球から一種目を専攻し、体力、身体の使い方、団体行動力等を養成する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	5/8	ルールの理解				実技	体育館等
2	5/14	基礎トレーニング				〃	〃
3	5/20	基礎技術				〃	〃
4	5/28	応用トレーニング				〃	〃
5	6/3	応用技術				〃	〃
6	6/11	チームトレーニング				〃	〃
7	6/17	連携プレイトレーニング				〃	〃
8	6/25	連係プレイ実践トレーニング				〃	〃
9	7/2	身体のケア				〃	〃
10	7/8	熱中症対策				〃	〃
11	7/16	ストレッチング				〃	〃
12	7/24	実践形式トレーニング				〃	〃
13	9/3	紅白戦				〃	〃
14	9/9	チーム戦略				〃	〃
15	9/17	クーリングダウン				〃	〃
16	9/25	練習試合				〃	〃
17	10/1	練習試合				〃	〃
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材							
備考		一単元は2時限です。					

授業科目名		キャリア形成演習					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	33	単位数	2
講師	高知ソフトウェアセンター、川瀬一郎						
内容		自己理解と社会人としての基礎力を修得し、自らの主体性を持って進路を考える力を養う。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	4/30	オフィス演習				演習	P C 室
2	5/1						
3	5/7						
4	8/25	成功哲学				講義	多目的
5							
6							
7	8/26	組織論				〃	〃
8							
9							
10	8/28	自己理解				演習	第 1 教室
11							
12							
13	10/3	職業理解				〃	〃
14							
15							
16	10/24	適性把握				〃	〃
17							
18							
19	11/20	マッチング				〃	〃
20							
21							
22	11/28	社会常識				〃	〃
23							
24							
25	1/23	スーツ着付け、面接練習				〃	〃
26		社会人の心構え					
27		進路考察					
28							
29							
30							
評価方法		授業態度等総合評価					
教材							
備考		1～3は1回3時間です					

授業科目名		農業基礎					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	30	単位数	2
講師	中国四国農政局高知県拠点、下川一彦						
内容		農業全般に関して、全員が農業高校卒業レベルの知識を修得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/22	我が国の農業			講義	多目的	
2		世界の農業と食糧事情					
3		環境変化と農業					
4	6/2	栽培作業、農業用具			〃	第1教室	
5		肥料設計、施肥理論、肥料					
6		病虫害、有害生物防除、栽培環境					
7	6/9	土壌の三相構造、作付け体系、気象災害			〃	〃	
8		水稻（たねもみ、苗作り）					
9		水稻（本田管理、収穫、調整）					
10	6/12	ムギ、スイートコーン、ダイズ			〃	〃	
11		ジャガイモ、サツマイモ					
12		野菜の栽培管理、野菜の分類					
13	6/16	メロン・スイカ・ニンジンの植物特性、栽培管理			〃	〃	
14		ダイコン・トマト・イチゴの植物特性、栽培管理					
15		野菜の病虫害防除					
16	6/19	花きの生産と種類、開花習性、用土			〃	〃	
17		種子繁殖、栄養繁殖、容器類					
18		シクラメン・プリムラ栽培の特徴					
19	6/19	カーネーション・バラ栽培の特徴			〃	〃	
20		果樹の種類、栽培、成長、人工授粉					
21		果樹施設の種類、果樹の剪定、繁殖法					
22	6/26	病虫害防除、果樹の成長			〃	〃	
23		果樹の収穫、貯蔵法					
24		ニワトリの品種、病気、鶏卵の構造					
25	7/1	ブタの品種、病気			〃	〃	
26		ブタの栄養と飼料					
27		ウシの食性、発情周期、妊娠期間					
28	7/3	農業機械の種類、トラクタ、作業機の連結装置			〃	〃	
29		耕うん・整地用機械、収穫用機械、乾燥・調整用機械					
30		工具類、トラクタの運転、点検整備、農作業安全					
評価方法		授業態度、試験成績による総合評価					
教材		日本農業技術検定傾向と対策					
備考							

授業科目名		物理基礎					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	岡林正幸						
内容		物理のうち主に燃焼や電気に関する事項を学ぶ					
回数	月日	内容	方法	場所			
1	11/11	物理学の範囲	講義	第1教室			
2		燃焼の区分	〃	〃			
3		燃焼の難易	〃	〃			
4	11/19	引火と発火	〃	〃			
5		燃焼範囲、自然発火	〃	〃			
6		粉じん爆発、消火と消火剤	〃	〃			
7	12/5	電気の計算／電池	〃	〃			
8		静電気	〃	〃			
9		物質の三態	〃	〃			
10	12/12	沸点と飽和蒸気圧	〃	〃			
11		気体の法則(ボイルシャルルの法則、ドルトンの法則)	〃	〃			
12		比重と蒸気比重	〃	〃			
13	12/19	熱量と比熱	〃	〃			
14		熱の移動	〃	〃			
15		熱膨張	〃	〃			
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材		乙種四類危険物取扱者試験令和7年版					
備考							

授業科目名		化学基礎					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	岡林正幸						
内容		化学のうち主に熱や燃焼、気体に関する事項を学ぶ					
回数	月日	内容	方法	場所			
1	2/6	化学の基礎	講義	第1教室			
2		物理変化と化学変化	〃	〃			
3		単体・化合物・混合物	〃	〃			
4	2/10	化学式	〃	〃			
5		化学反応式	〃	〃			
6		反応速度と化学平衡	〃	〃			
7	2/18	酸と塩基（水素イオン濃度、pH）	〃	〃			
8		酸と塩基（中和、塩、塩の加水分解）	〃	〃			
9		酸化と還元	〃	〃			
10	2/25	元素の分類、周期表	〃	〃			
11		イオン化傾向	〃	〃			
12		金属の腐食	〃	〃			
13	3/3	有機化合物の構造式	〃	〃			
14		有機化合物の命名	〃	〃			
15		有機化合物の重合縮合、高分子材料	〃	〃			
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材		乙種四類危険物取扱者試験令和7年版					
備考							

授業科目名		スマート農業					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	環境農業推進課、農業イノベーション推進課、専門技術員、内部講師						
内容		農業分野における軽労働化、IT化等の技術について基礎的な知識・技能を身につける。					
回数	月日	内容	方法	場所			
1	9/	スマート農機の概要	講義・演習	果樹圃場			
2		自動化技術の構造（自走式草刈機）		グラウンド			
3		省力技術の使用（アシストスーツ）		体育館			
4	1/8	植物生産施設の環境について	講義	第1教室			
5		植物生産環境の計測とモニタリング					
6		光合成の計測とモニタリング					
7	1/22	環境制御技術について	講義	第1教室			
8		モニタリング先端事例（SAWACHIガイドンス）					
9		県内スマート農業の先端事例					
10	2/9	ドローン操作の規制	講義	第1教室			
11		ドローン飛行操作	演習	体育館			
12		ドローンによる写真撮影					
13	2/13	デジタル教材による栽培シミュレーション	演習	第1教室			
14		デジタル教材による経営シミュレーション					
15		デジタル教材の利活用					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		演習態度及びレポート等総合評価					
教材							
備考							

授業科目名		農業簿記					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	縄砂恵子						
内容		農業簿記の基礎を学び、パソコン簿記ソフトの操作を習得する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	12/1	簿記の概要				講義	第1教室
2		農業簿記とは					
3		簿記の基本					
4	12/8	仕訳				〃	〃
5		勘定科目（資産、負債、資本）					
6		勘定科目（収益、経費）					
7	12/15	固定資産				〃	〃
8		減価償却費					
9		減価償却費の計算					
10	12/22	決算（次年度繰越）				〃	〃
11		決算					
12		決算書の活用					
13	12/25	実践練習（決算演習）				演習	P C 室
14							
15							
16	1/9	簿記ソフトの利活用（概論）				〃	〃
17		簿記ソフトの利活用（入力）					
18		簿記ソフトの利活用（決算）					
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		筆記試験および授業態度					
教材		「わかる」から「できる」へ農業複式簿記実践テキスト					
備考							

授業科目名		6 次産業化実習					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	30	単位数	1
講師	日本災害食学会、レコールバンタン・キャリアカレッジ、MISO SOUP、中央西福祉保健所、農産物マーケティング戦略課専門技術員、内部講師						
内容		農産物を利活用したブランディングの考え方を学び、一次加工の技術を実習により習得する。また食品衛生責任者を取得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	6/10	食品衛生責任者講習			講習	多目的	
2							
3	7/15	ストーリーブランディング論			講義	〃	
4	8/27	ブランディング構築の実践			実習	第1教室	
5	9/19	ブランディングに基づく商品開発			〃	〃	
6	10/2	地域資源を利用した商品開発			講義	多目的	
7	10/9	地域資源の考察と商品開発実習			実習	第1教室	
8	10/14	商品開発の基礎（災害と災害食）			講義	多目的	
9	10/15	商品開発			実習	第1教室	
10	10/30	加工・陳列実習			〃	中庭	
評価方法		総合評価					
教材							
備考							

授業科目名		流通研修 I					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	30	単位数	1
講師	土佐花き園芸市場、高知県食肉センター、高知県中央青果市場、高知食糧株式会社、高知県農業協同組合						
内容		農畜産物の流通または加工現場への視察・体験研修等を通して業界の実際を学ぶ。特に仕事の内容について理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	10/29	花きの流通と花市場の業務について			研修	土佐花き園芸市場	
2							
3							
4		直売所の業務と品揃えについて				とさのさと	
5							
6							
7		枝肉の加工と食肉センターの業務について				高知県食肉センター	
8							
9							
10		とりまとめ				校内	
11	11/1	農産物・食品販売、販売所設営、顧客管理（農大祭）			実習	校内	
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21	11/6	青果物の流通と青果市場の業務について			研修	高知県中央青果市場	
22							
23							
24		卵、米の流通業務について				高知食糧たまごセンターおよび本社	
25							
26							
27		高知県の農産物集出荷業務について				高知県農協園芸流通センター	
28							
29							
30							
教材							
備考							

授業科目名		卒論計画					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	担当教官						
内容		プロジェクト学習（経営実践学習）に取り組むに当たっての考え方を示し、課題や調査方法の設定が適切にできるように準備する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1		プロジェクト学習とは				演習	教官指示
2		プロジェクトの進め方				〃	〃
3		プロジェクトの単位と評価				〃	〃
4		経営プロジェクトと技術プロジェクト				〃	〃
5		問題意識を持った内容の整理				〃	〃
6		対象品目（家畜）の選定				〃	〃
7		対象物の課題分析				〃	〃
8		課題の設定				〃	〃
9		調査方法（生育・肥育調査）				〃	〃
10		調査方法（収支調査）				〃	〃
11		調査方法（労働力調査）				〃	〃
12		調査方法（収量・体重等調査）				〃	〃
13		調査方法（調査範囲）				〃	〃
14		調査方法（調査項目）				〃	〃
15		計画の樹立				〃	〃
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価（演習態度、計画書等）					
教材							
備考		各専攻により日時、場所を設定します。					

授業科目名		環境保全型農業Ⅰ					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	環境カウンセラー、内部講師						
内容		環境と農畜産業の関連を学び、専攻科目ごとに主にGAPについて理解する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	8/29	地球環境の現在				講義	第1教室
2		農業を取り巻く環境問題					
3		環境保全と農業					
4	9/5	持続可能な農業・畜産業（現地研修）				〃	佐川町
5							
6							
7	9/12	GAP概説				〃	第1教室
8		トレーサビリティと分別管理					
9		作業者の健康と安全、記録と管理					
10	9/26	・有機農業 ・地球環境 ・CCS、CCUS ・環境問題と食 のうちから2課題演習				演習	校外
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度、筆記試験、レポート評価					
教材							
備考							

授業科目名		土壌肥料学					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	30	単位数	2
講師	環境農業推進課、内部講師						
内容		土壌分析に必要な分析化学の基礎知識と分析操作、また分析結果を用いた土壌診断手法を習得する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	6/5	土壌診断の進め方				演習	現場教室
2		土壌採取の方法と実践					
3		肥料の三要素（窒素、リン酸、加里）					
4	6/6	作物の生育と土壌環境				講義	第1教室
5		pH、ECと測定及び結果の活用					
6		土壌分析・調査測定、特別栽培農産物と有機農産物					
7	10/10	苦土と石灰（アレニウス氏表の活用）				〃	〃
8		塩基飽和度、塩基バランス、微量元素					
9		水田における診断項目					
10	10/17	土壌の物理性				〃	〃
11		土壌の生物性と土壌消毒					
12		生育障害					
13	10/21	土壌改良総論				〃	〃
14		有機物施用と効果、土壌改良資材					
15		施肥、灌水					
16	10/23	土壌診断・施肥改善				〃	〃
17		面積計算					
18		肥料の計算（成分量、施肥量）					
19	11/5	〃（施肥基準の読み方、施肥量計算）				〃	〃
20		コスト低減、省力化等に向けた土壌・施肥管理					
21		環境負荷低減を目指した栽培法及び土づくり					
22	11/7	主要作物の栽培特性と施肥管理				〃	〃
23		〃（穀類）					
24		〃（葉菜類）					
25	11/13	〃（結球野菜類）				〃	〃
26		〃（果菜類）					
27		〃（根菜類）					
28	11/27	〃（切り花類）				〃	〃
29		〃（果樹）					
30		家畜糞堆肥施用の留意点					
評価方法		授業態度40点、筆記試験60点					
教材		新版土づくりと作物生産（日本土壌協会）					
備考							

授業科目名		農薬概論					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	環境農業推進課、内部講師						
内容		安心安全な野菜の安定生産するために農薬に関する正しい知識を身につける。主体的に考え、判断し、病害虫防除ができる農業者を育成する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	4/11	農薬とは何か？			講義	第1教室	
2	5/8	農薬の使用に関わる法律と私たちの暮らし			〃	〃	
3	5/14	農薬の使用と周辺環境への配慮			〃	〃	
4	5/20	農薬の使用における注意事項			〃	〃	
5	5/28	農薬の使用における危害防止			〃	〃	
6	6/3	作物保護と農薬			〃	〃	
7	6/11	殺菌剤の作用と効果			〃	〃	
8	6/17	殺虫剤の作用と効果			〃	〃	
9	6/25	展着剤の作用と効果			〃	〃	
10	1/7	使用記録のつけ方			〃	〃	
11		農薬の保管と在庫管理					
12		農薬の散布および施用方法					
13	1/19	廃液等の適正な処理			〃	〃	
14		適用作物と適用病害虫					
15		生長剤、徒長防止剤					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度40点、筆記試験60点					
教材		病気・害虫の出方と農薬選び					
備考							

授業科目名		生物工学					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	農研機構、内部講師						
内容		バイオテクノロジーの意義を理解し、無菌播種、茎頂培養、器官培養の実習を通じてバイオテクノロジーの基礎を学ぶ。育種技術や遺伝子組み換え技術を習得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	6/4	進め方、クリーンベンチ操作の基礎			演習	バイオ室	
2		実体顕微鏡操作(イチゴ花芽検鏡)					
3		次回の培地作成					
4	6/13	イチゴ茎頂培養			〃	〃	
5		〃					
6		次回の培地作り					
7	6/20	ダイサギソウ無菌播種			〃	〃	
8		〃					
9		〃					
10	6/27	無菌播種の評価			〃	〃	
11		〃					
12		順化					
13		ゲノム編集技術			講義	多目的室	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材							
備考							

授業科目名		作物概論					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		食用作物の生産と利用、生態系の分化、品種特性、生理生態並びに栽培技術について基礎知識を習得する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	6/30	作物の成長と身体仕組み				講義・演習	第1教室
2		作物の収量と栽培環境					
3		地域環境・土地利用と作物生産					
4	7/4	イネの一生と成長				〃	〃
5		イネの生育・収量					
6		イネの栽培環境を考える					
7	7/11	イネの作付時期と品種				〃	〃
8		麦類の特徴と利用					
9		麦類の一生と成長					
10	7/14	マメ類の種類と特徴				〃	〃
11		イモ類（ジャガイモ）					
12		イモ類（サツマイモ）					
13	7/22	雑穀類				〃	〃
14		その他の作物					
15		まとめ					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		レポート、テスト					
教材							
備考		90分×2コマ					

授業科目名		園芸管理学Ⅰ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		園芸作物を周年供給するための多様な作型と基本的な栽培技術について理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/12	園芸の概論			講義	第1教室	
2		栽培管理の基本（草本類）					
3		栽培管理の基本（木本類）					
4	5/16	育苗管理（草本類）			〃	〃	
5		育苗管理（木本類）					
6		育苗管理（接ぎ木、挿し木）					
7	5/19	一年生作物の土耕栽培と土壌管理			〃	〃	
8		永年作物と土壌管理					
9		作型の分類（促成、抑制、半促成）					
10	5/30	品種と作型			〃	〃	
11		ナス科野菜の施設栽培における作型					
12		ウリ科野菜の施設栽培における作型					
13	6/11	花きの施設栽培における作型			〃	〃	
14		果樹の施設栽培と作型					
15		野菜、花きの露地栽培と作型					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度及び試験の得点で評価します					
教材							
備考							

授業科目名		園芸管理学Ⅱ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		園芸作物を周年供給するための栽培技術特に養液栽培や減農薬等特別栽培技術について理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	12/3	果樹の露地栽培と作型			講義	第1教室	
2		養液栽培1（養液栽培の概要）					
3		養液栽培2（特徴）					
4	12/10	養液栽培3（非固形培地利用栽培システム）			〃	〃	
5		養液栽培4（固形無機培地利用栽培システム）					
6		養液栽培5（固形有機培地利用栽培システム）					
7	12/17	養液栽培6（培養液の管理）			〃	〃	
8		養液土耕栽培					
9		養液土耕栽培システムと土壌管理					
10	12/24	根域制限栽培			〃	〃	
11		隔離床栽培					
12		少量培地耕栽培					
13	2/12	減農薬栽培			〃	〃	
14		減肥栽培					
15		有機栽培					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度及び試験の得点で評価します					
教材							
備考							

授業科目名		植物生理Ⅰ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		植物細胞、組織の構造、木本植物の生理について学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	10/6	農業と植物生理との関係			リモート講義	各自	
2		植物体の構造					
3		植物細胞の構造、細胞内小器官					
4	10/20	植物の基本組織（表皮・維管束・同化組織）			リモート講義	各自	
5		植物の基本組織（分裂・貯蔵・機械・通気組織）					
6		根の構造					
7	10/27	根の機能、茎の構造と機能			リモート講義	各自	
8		花・種子の構造と機能					
9		物質代謝（異化と同化、光合成反応）					
10	11/10	光合成の制御要因（光、CO2濃度、温度、水）			リモート講義	各自	
11		光合成の制御要因（無機養分）					
12		光合成のメカニズム					
13	11/17	光合成と葉室素含量、光の波長			リモート講義	各自	
14		植物と水					
15		ふりかえり					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		筆記（またはweb）試験					
教材							
備考		zoomでのリモート授業を行います。					

授業科目名		植物生理Ⅱ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		主に草本植物の生理について学ぶ。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	11/18	種子の発芽（発芽の条件）				講義	第1教室
2		種子の発芽（種子の寿命）					
3		種子の発芽（貯蔵養分の変化、休眠）					
4	11/25	作物の生長（生長と組織）				〃	〃
5		作物の生長（環境要因）					
6		作物の生長（生長調整物質）					
7	12/2	作物の開花（長日効果）				〃	〃
8		作物の開花（春化）					
9		作物の開花（体内成分と開花）					
10	12/9	受精				〃	〃
11		結実					
12		結果					
13	12/16	災害と作物（干害、高温害）				〃	〃
14		災害と作物（塩害、風害）					
15		災害と作物（凍害、霜害）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		筆記試験					
教材							
備考							

授業科目名		植物病理学Ⅰ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		作物の病気、病原菌、防除の基礎を学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	9/1	作物の病気			講義	第1教室	
2		病気の発生要因					
3		作物病の発生と環境要因					
4	9/8	病原菌の生活環（糸状菌）			〃	〃	
5		病原菌の生活環（細菌、ウイルス）					
6		植物の病害抵抗性					
7	9/16	植物病害の診断法（光学的診断）			〃	〃	
8		植物病害の診断法（化学的・生物学的診断）					
9		植物病害の耕種的防除					
10	9/22	植物病害の生物学的防除			〃	〃	
11		植物病害の化学的防除（実際）					
12		植物病害の化学的防除（作用機作）					
13	9/29	植物病害の物理的防除			〃	〃	
14		総合的病害管理					
15		まとめとふりかえり					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		筆記試験及びレポートによる総合評価					
教材		新植物病理学概論					
備考							

授業科目名		植物病理学Ⅱ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	農業技術センター、内部講師						
内容		顕微鏡操作など植物病害の診断手法を学び、圃場での診断方法を修得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	11/26	植物病原菌の種類			演習	化学室	
2		糸状菌検鏡の実際					
3		コッホの三原則					
4	2/24	糸状菌病の病徴			〃	〃	
5		糸状菌病の診断					
6		細菌病接種					
7	3/5	病徴再現と分離			〃	〃	
8		細菌病の診断					
9		細菌病の感染と伝染					
10	3/10	圃場での病害診断			〃	〃	
11							
12							
13	3/16	圃場での病害診断			〃	〃	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度およびレポート等総合評価					
教材		講師配布					
備考							

授業科目名		園芸各論Ⅰ					
学科	園芸	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		園芸の専攻分野にかかる代表的な品目に関する、主に生産について学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/9	(野菜・花き・果樹) 養蜂の基本とミツバチの生態・飼育			演習	多目的	
2							
3							
4		(野菜) 果菜類の特性と栽培管理技術			演習	講師指示	
5		(花き) 切り花の特性と栽培管理技術					
6		(果樹) 常緑果樹の特性と栽培管理技術					
7		(野菜) 果菜類の特性と栽培管理技術			講義	講師指示	
8		(花き) 切り花の特性と栽培管理技術					
9		(果樹) 常緑果樹の特性と栽培管理技術					
10		(野菜) 葉菜類の特性と栽培管理技術			講義	講師指示	
11		(花き) 鉢物の特性と栽培管理技術					
12		(果樹) つる性果実の特性と栽培管理技術					
13		(野菜) 根菜類の特性と栽培管理技術			講義	講師指示	
14		(花き) 球根類の特性と栽培管理技術					
15		(果樹) 落葉果樹の特性と栽培管理技術					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材							
備考		専攻ごとに分かれて行います。また実施の時期も異なります。()内は実績により具体的品目を入れます					

-25-

授業科目名		畜産概論					
学科	畜産	学年	1	時間	30	単位数	2
講師	津野山畜産公社、豊田陽一						
内容		畜産業について概論的に学び、各論を整理・体系化する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	4/24	畜産業とは				講義	第3教室
2		家畜と野生動物					
3		伴侶動物、実験動物					
4	5/12	家畜繁殖技術の概要				講義	第3教室
5		繁殖技術の実際					
6		哺乳類家畜の発生工学					
7	5/16	家畜鳥類の発生工学				講義	第3教室
8		哺乳家畜の栄養学					
9		家畜鳥類の栄養学					
10	5/19	家畜飼料の概要				講義	第3教室
11		飼料栽培、人工飼料と品質					
12		家畜の疾病と衛生（哺乳動物）					
13	5/21	家畜の疾病と衛生（鶏）				講義	佐川分室
14		畜産物利用（哺乳動物）					
15		畜産物利用（鳥類）					
16	5/23	家畜と飼育環境				講義	第3教室
17		家畜飼育と環境に及ぼす影響					
18		動物福祉の概念					
19	6/4	家畜飼育とアニマルウェルフェア				講義	佐川分室
20		ウシの放牧					
21		放牧管理を行う家畜					
22	6/18	ウシの行動				講義	佐川分室
23		ブタの行動					
24		鶏の行動					
25	7/9	食肉の概要				講義	佐川分室
26		食品として使用する卵					
27		駆除動物の食肉（ジビエ）					
28	7/23	培養肉、代替肉				講義	佐川分室
29		畜産業の課題と展望					
30		伴侶動物業界の課題と展望					
評価方法		授業態度（40点）、筆記試験（60点）					
教材		講師配布					
備考							

授業科目名		家畜栄養学Ⅰ					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		家畜の栄養と資料について理解し、家畜飼養についての基礎知識を得る。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	2/12	栄養概論			講義	第3教室	
2		5大栄養素概論（糖、タンパク質）					
3		5大栄養素概論（脂質、ビタミン、ミネラル）					
4	2/24	生体内のエネルギー代謝			〃	〃	
5		ATPの役割、構造、機能					
6		ATPの合成（解糖系、クエン酸回路、電子伝達系）					
7	3/5	糖の合成（糖新生、ペントースリン酸経路）			〃	〃	
8		DNAと遺伝子の転写					
9		DNAの複製とタンパク質の合成					
10	3/10	牛（反芻動物）の栄養学			〃	〃	
11		牛の消化とエネルギー代謝					
12		ブタ（単胃動物）の栄養学					
13	3/16	ブタの消化とエネルギー代謝			〃	〃	
14		鶏の栄養学、消化とエネルギー代謝					
15		組換えDNA技術					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度（40点）、筆記試験（60点）					
教材							
備考							

授業科目名		家畜飼養管理学					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	外部講師						
内容		家畜の飼育の基礎、飼料作物の基本的な栽培管理及び加工方法について習得する。家畜飼育に必要な栄養の知識、飼料計算の方法を身につける。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	6/3	野生動物からの家畜化				講義	第3教室
2		家畜の生理・生態と飼育環境					
3		栄養管理と飼料給与					
4	6/5	養鶏(採卵、ブロイラー)				〃	〃
5		養豚					
6		酪農、肉用牛					
7	6/13	栄養素の単位と要求量、養分要求量				〃	〃
8		要求量に影響する要因と留意事項、飼料計算方法					
9		飼料作物概論					
10	6/17	団地型飼料作物、寒冷地型飼料作物				〃	〃
11		芝草地（放牧）					
12		イタリアンライグラスの栽培					
13	6/20	ソルガムの栽培				〃	〃
14		サイレージ、牧草					
15		WCS					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材		講師配布					
備考							

授業科目名		家畜繁殖学					
学科	畜産	学年	1	時間	30	単位数	2
講師	高知大学						
内容		家畜の繁殖についての知識全般について理解し、人工授精等の実践に役立てる。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/12	ガイダンス			講義	第3教室	
2		畜産繁殖の概論					
3		家畜の栄養と繁殖					
4	5/14	家畜の飼養管理			〃	〃	
5							
6							
7	5/19	家畜の育種			〃	〃	
8							
9							
10	5/28	家畜の人工授精			〃	〃	
11		人工授精の制度と関係法規					
12		生殖器解剖					
13	6/4	神経・内分泌			〃	〃	
14							
15							
16	6/11	雌の繁殖生理（生殖器官の構造と機能、卵子形成、生殖ホルモン）			〃	〃	
17							
18							
19	6/18	雌の繁殖生理（生殖器官の構造と機能、精子形成、生殖ホルモン）			〃	〃	
20							
21							
22	7/2	妊娠・分娩・泌乳			〃	〃	
23							
24							
25	7/9	人工授精技術（歴史・目的・方法・精子保存）			〃	〃	
26							
27							
28	7/16	人工授精技術（受精卵移植、体外受精）			〃	〃	
29							
30							
評価方法		筆記試験等					
教材		家畜人工授精講習会テキスト					
備考							

授業科目名		家畜育種学					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		家畜の育種・改良について基礎的な知識を修得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/16	ガイダンス			講義	第3教室	
2		種、品種、系統					
3		家畜の繁殖技術					
4	5/30	家畜育種の仕組み			講義	第3教室	
5		系統造成					
6		雑種強勢					
7	6/13	育種法、検定			講義	第3教室	
8							
9							
10	6/20	遺伝子組み換え			講義	第3教室	
11		受精卵移植					
12		クローン					
13	6/27	家畜改良への応用			講義	第3教室	
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		筆記試験等					
教材							
備考							

授業科目名		家畜生理解剖Ⅱ					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	ノムラファーム						
内容		家畜動物である哺乳類の器官とその生理機能について学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	11/26	動物細胞の構成			講義	第3教室	
2		骨組織細胞					
3		筋組織細胞					
4	12/3	感覚器細胞			〃	〃	
5		消化器細胞(消化器官)					
6		消化器細胞(内分泌器官)					
7	12/10	泌尿器細胞			〃	〃	
8		呼吸器細胞					
9		心臓細胞、血管・血液・体液細胞					
10	12/17	リンパ性器官、胸腺、脾臓細胞			〃	〃	
11		雄性生殖器細胞					
12		雌性生殖器、乳腺細胞					
13	12/24	卵巣、精巣細胞			〃	〃	
14		外皮細胞					
15		器官のつながり					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材							
備考							

授業科目名		畜産各論Ⅰ					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	養蜂組合、畜産試験場、内部講師						
内容		各家畜にかかる概論や関連する情勢等を学ぶ。特にウシ、ブタ、ニワトリ以外の大小家畜について概論を理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/9	養蜂について（用途と飼育）			講義	多目的	
2		養蜂について（巣の構造、配置）					
3		養蜂について（採蜜）					
4	11/10	ヒツジ・ヤギについて（ヒトとの関わり）			〃	第3教室	
5		ヒツジ・ヤギについて（起源と家畜化）					
6		ヒツジ・ヤギについて（生態と飼育）					
7	11/17	愛玩動物について（ヒトとの関わり）			〃	〃	
8		愛玩動物について（飼育とグルーミング）					
9		愛玩動物について（しつけと訓練）					
10	12/2	ウサギについて（起源、飼育、用途）			〃	〃	
11		は虫類について（主要動物と飼育）					
12		鳥類について（主要動物と飼育）					
13	12/9	飼料作物の種類			〃	〃	
14		飼料作物の栽培					
15		飼料作物の加工と品質					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度40点、筆記試験60点					
教材							
備考		4～15は畜舎管理の状況により日時、場所を設定します					

授業科目名		インターンシップ研修					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	64	単位数	2
講師							
内容		農業または関連産業に派遣し、実際の業務を体験することで業界の実際を知り、社会人を養成するとともに自らの進路を考える。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1		農業関連職業研修 (農畜生産、加工園芸、流通販売、機械)			研修	校外	
2							
3							
4							
5		進路希望別職場体験			〃	〃	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		レポート					
教材							
備考		班構成により日程を分けて研修します。					

授業科目名		農業機械実習					
学科	園芸・畜産	学年	1	時間	66	単位数	2
講師	中央自動車学校、内部講師						
内容		農業機械を安全に使用する基礎知識と操作を学ぶ。またフォークリフト運転技能講習及び小型建設車両特別教育を修了し、業務上の運転操作ができるようにする。					
回数	月日	内容				方法	場所
1～3	4/10	農業機械安全使用について				講義	第1教室
4～6	4/14	農業機械操作実習				実習	機械庫
7～10	4/14	フォークリフト運転技能講習				講義	第1教室
11～18	4/15	〃				〃	〃
19～27	4/16	〃				実習	中庭
28～36	4/17	〃				〃	〃
37～45	4/18	〃				〃	〃
46～48	4/22	農業機械操作実習				実習	機械庫
49～51	4/25	〃				〃	〃
52～54	4/28	〃				〃	〃
55～60	1/15	小型車両系建設機械特別教育（学科）				講義	第2教室
61～66	1/16	小型車両系建設機械特別教育（実技）				実習	圃場
評価方法		総合評価					
教材							
備考		フォークリフト、小型車両は欠席があると修了証を発行できません。					

令和7年度高知県立農業大学校 シラバス（2年生）

もくじ

<教養科目>

情報処理	1
体育	2

<共通科目>

農業経営学	3
環境保全型農業Ⅱ	4
農業法人	5
農業施策	6
流通研修Ⅱ	7
化学概論	8
物理学概論	9
各論ゼミ	10
卒業論文	11

<園芸科目>

I P M	12
園芸施設	13
園芸流通	14
園芸各論Ⅱ	15

<畜産科目>

家畜栄養学Ⅱ	16
家畜生理解剖Ⅱ	17
家畜衛生学	18
動物福祉論	19
畜産物流通論	20
畜産各論Ⅱ	21

<実習>

先進農家留学研修	22
----------	----

授業科目名		情報処理					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	高知ソフトウェアセンター						
内容		パワーポイントの操作を学び、卒論発表ができるようになる。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	5/19	PowerPointの基礎知識				講義・演習	P C 室
2		PowerPointの画面構成					
3		プレゼンテーションの新規作成					
4	5/26	プレゼンテーションの構成				〃	〃
5		プレゼンテーションのデザイン					
6		文字・段落書式の設定					
7	6/2	オブジェクトの作成				〃	〃
8		表・グラフ・画像ファイルの挿入					
9		画面切り替え効果、アニメーションの設定					
10	6/16	ハイパーリンクの設定				〃	〃
11		スライドショーの実行					
12		課題作成					
13	6/26	〃				〃	〃
14		〃					
15		課題発表					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価(授業態度20点、課題80点)					
教材		PowerPointクイックマスター2019					
備考							

授業科目名		体育					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	34	単位数	1
講師	外部講師、内部講師						
内容		バレーボール、バドミントン、卓球から一種目を専攻し、体力、身体の使い方、団体行動力等を養成する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/8	ルールの理解			実習	体育館等	
2	5/14	基礎トレーニング			〃	〃	
3	5/20	基礎技術			〃	〃	
4	5/28	応用トレーニング			〃	〃	
5	6/3	応用技術			〃	〃	
6	6/11	チームトレーニング			〃	〃	
7	6/17	連携プレイトレーニング			〃	〃	
8	6/25	連係プレイ実践トレーニング			〃	〃	
9	7/2	身体のケア			〃	〃	
10	7/8	熱中症対策			〃	〃	
11	7/16	ストレッチング			〃	〃	
12	7/24	実践形式トレーニング			〃	〃	
13	9/3	紅白戦			〃	〃	
14	9/9	チーム戦略			〃	〃	
15	9/17	練習試合			〃	〃	
16	9/25	練習試合			〃	〃	
17	10/1	練習試合			〃	〃	
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価					
教材							
備考		一単元は2時限です。					

授業科目名		農業経営学					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	高知大学						
内容		農業経営における諸概念（生産要素、精算、経営）を理解し、雇用就農に求められる圃場・労務管理の知識、雇用管理の根拠となる法令や制度について学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	4/24	農業経営体の捉え方			講義	第2教室	
2		農業経営とは					
3		経営の重要性、用語					
4	5/7	日本の農業			〃	〃	
5		日本の農業経営体					
6		農業経営体の環境変化					
7	5/15	農業経営の形態			〃	〃	
8		収益と損失					
9		収益目標					
10	5/29	生産要素（土地）			〃	〃	
11		生産要素（労働力）					
12		生産要素（資本）					
13	6/5	農業経営体の管理（組織と運営）			〃	〃	
14		農業経営体の管理（情報）					
15		農業経営体の管理（経営診断と設計）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		レポート、筆記試験					
教材		農業経営概論					
備考							

授業科目名		環境保全型農業Ⅱ					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	有機農業者、中国四国農政局高知県拠点、環境農業推進課、内部講師						
内容		持続可能な農業生産について、課題や経営の実際及び国の施策を理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	8/26	みどりの食料戦略システムの概要			講義	第2教室	
2		みどりの食糧戦略システムの展望					
3		持続可能産業の構築について					
4	8/27	国内農業生産現場の概要			演習	多目的	
5		国内環境に及ぼす農業生産					
6		環境と調和した今後の農業推進					
7	9/2	有機農業の栽培について			講義	第2教室	
8		有機農業の経営について					
9		有機農産物の流通について					
10	9/26	・有機農産物 ・地球環境 ・炭素固定 ・環境問題と食 のうちから2課題演習			演習	校外	
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、レポート評価					
教材							
備考							

授業科目名		農業法人					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	農業会議、浜田社会保険労務士事務所						
内容		農業法人に関する基礎知識と農業におけるセーフティーネット、労務管理、社会保障の基礎知識を習得する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	9/11	農業法人の基礎と概要				演習	第2教室
2		農業法人の運営、法人化と諸制度					
3	10/2	労務管理（就業規則、勤務の管理）				講義	〃
4		労務管理（税金、社会保険）					
5		労務管理（安全衛生、福利厚生）					
6	10/3	優良法人の実際（事例調査） ・事業概要 ・法人の形態 ・農地所有 ・経営状況 ・労務管理				演習	法人現場
7							
8							
9							
10							
11							
12	10/9	労働基本法と社会情勢				講義	第2教室
13		採用・退職・給与・ハラスメント					
14		農業法人における労務管理の特徴					
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、筆記試験					
教材							
備考							

授業科目名		農業施策					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	市町村、高知県農業会議、高知県鳥獣害対策課・農業担い手支援課・基盤整備課						
内容		国及び県の農業振興のための政策事業、新規就農に向けた県の施策や農地法等の概要を学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1		労働力対策支援			演習	体育館	
2		農福連携施策					
3		スマート機器導入施策					
4	9/1	高知県農政概要			講義	第2教室	
5		農地法					
6		本県の担い手対策支援					
7	10/10	地域での担い手対策（対象とする担い手像）			〃	〃	
8		地域での担い手対策（産地提案書）					
9		地域での担い手対策（就農支援施策）					
10	10/14	国と本県の中山間地域農業			〃	〃	
11		本県の中山間地域農業（特別支払制度）					
12		本県の中山間地域農業（集落営農）					
13	1/7	本県の中山間地域農業（鳥獣被害の実態）			〃	〃	
14		本県の中山間地域農業（鳥獣害対策）					
15		本県の中山間地域農業（鳥獣害対策施策）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、レポート					
教材							
備考							

授業科目名		流通研修Ⅱ					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	30	単位数	1
講師	土佐花き園芸市場、高知県食肉センター、高知県中央青果市場、高知食糧株式会社、高知県農業協同組合						
内容		農畜産物の流通または加工現場への視察・体験研修等を通して業界の実際を学ぶ。特に仕事の内容について理解する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	5/22	青果物の流通と青果市場の業務について			研修	高知県中央青果市場	
2							
3							
4		卵、米の流通業務について				高知食糧たまごセンターおよび本社	
5							
6							
7							
8		高知県の農産物集出荷業務について				高知県農協園芸流通センター	
9							
10							
11	6/4	花きの流通と花市場の業務について			研修	土佐花き園芸市場	
12							
13							
14		直売所の業務と品揃えについて				とさのさと	
15							
16							
17							
18		枝肉の加工と食肉センターの業務について				高知県食肉センター	
19							
20							
21	11/1	農産物・食品販売、販売所設営、顧客管理（農大祭）			実習	校内	
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		研修態度、レポート					
教材							
備考							

授業科目名		化学概論					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		化学基礎以外の化学分野を網羅して概論を学ぶ					
回数	月日	内容				方法	場所
1	5/2	化学基礎のふり返し				講義	第2教室
2		原子、イオン、分子の構造					
3		電子配置、価数とイオン					
4	5/9	化学結合（イオン結合）				〃	〃
5		化学結合（金属結合、共有結合）					
6		物質量(mol)					
7	5/13	養液の濃度(モル濃度)と性質				〃	〃
8		化学反応式と式を用いた計算					
9		酸化還元反応の応用(電気分解)					
10	5/23	コロイド				〃	〃
11		反応熱と熱化学方程式					
12		非金属元素、金属元素					
13	5/30	有機化合物の官能基と性質				〃	〃
14		芳香族化合物					
15		タンパク質、アミノ酸の検出					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材		毒物劇物取扱者短期合格テキスト					
備考							

授業科目名		物理学概論					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		物理基礎以外の物理分野を全般的に学び、物理学の概論を理解する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	1/6	物理学が拓く未来（日常生活と物理学との関連）				講義	第2教室
2		運動（物理量の測定と扱い方）					
3		運動の表し方					
4	1/13	直線運動の加速度				〃	〃
5		様々な力（摩擦力、弾性力、圧力、浮力）					
6		力のつり合い					
7	1/21	運動の法則				〃	〃
8		物体の落下運動					
9		運動エネルギーと位置エネルギー					
10	1/28	力学的エネルギーの保存				〃	〃
11		波の性質					
12		音と振動					
13	2/3	エネルギーとその利用（水力、化石燃料、原子力）				〃	〃
14		電気と磁気					
15		測量					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材							
備考							

授業科目名		各論ゼミ					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	担当教官						
内容		課題のとりまとめ、発表および相互に評価を行うことを通してプレゼンテーション能力、科学的コミュニケーション力を養成する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	1/20	課題研究				演習	教官指示
2							
3							
4	1/22	〃				〃	〃
5							
6							
7	1/23	〃				〃	〃
8							
9							
10	1/26	〃				〃	〃
11							
12							
13	1/27	課題発表、討議				発表会	多目的
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		総合評価（演習態度、発表、討議内容等）					
教材							
備考		各専攻別に設定して行います。					

授業科目名		卒業論文					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	90	単位数	3
講師	担当教官						
内容		プロジェクト課題のとりまとめ、発表を通して科学的思考、整理、プレゼンテーション能力等を修得する。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	12/23	プロジェクト審査会			発表会	多目的室	
2	12/24	〃			〃	〃	
3		プロジェクト課題とりまとめ					
4		プロジェクトデータの整理・考察					
5		プレゼンテーション準備					
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		審査会評価点					
教材							
備考		3～5については各専攻別に設定して行います。					

授業科目名		I P M					
学科	園芸	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	環境農業推進課、アリスタライフサイエンス(株)、農業技術センター						
内容		総合的病害虫管理の概要、技術特に天敵利用技術と農薬に頼らない病害対策について学ぶ。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	6/10	農薬による防除の限界				講義	第2教室
2		在来天敵の種類と活用1					
3		在来天敵の種類と活用2					
4	6/12	I P Mの概要				〃	〃
5		I P M技術の基礎					
6		病害防除の基礎					
7	6/19	害虫防除の基礎				〃	〃
8		害虫発生のメカニズム					
9		要防除水準					
10	6/24	市販天敵昆虫資材とその活用1				〃	〃
11		市販天敵昆虫資材とその活用2					
12		市販天敵昆虫資材とその活用3					
13	6/27	病害抑制環境				〃	〃
14		病害抑制技術					
15		農薬に頼らない病害対策					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材							
備考							

授業科目名		園芸施設					
学科	園芸	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	丸昇農材（株）、高知県農業共済組合、内部講師						
内容		総合的病害虫管理の概要、技術特に天敵利用技術と農薬に頼らない病害対策について学ぶ。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	6/30	園芸施設の名称、計測と評価				講義	第2教室
2		施設災害補償					
3		災害評価の実践演習					
4	7/1	園芸施設資材の歴史				〃	〃
5		施設園芸資材の開発					
6		施設園芸資材の流通					
7	7/7	加温機、CO2発生装置の種類と効果				〃	〃
8		加温機の保守点検					
9		燃料と省エネルギー					
10	7/15	APハウス、鉄骨ハウスの構造				〃	〃
11		高軒高ハウス・給液システムの構造					
12		換気装置、CO2発生装置の概要					
13	7/22	収穫後の予冷库利用と庫内環境制御				〃	〃
14		収穫後の温度環境と障害発生					
15		収穫後の鮮度保持環境の制御					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度および筆記試験					
教材							
備考							

授業科目名		園芸流通					
学科	園芸	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	J A高知県、ポップコミュニケーション、農産物マーケティング戦略課、農業技術センター						
内容		県内農産物の生産、流通状況を把握し、多様な販売方法について学ぶとともに、農産物輸出や品質管理についての基礎を学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	6/13	高知県農産物の市場流通			講義	第2教室	
2		高知県農産物の販売戦略					
3		高知県農産物の輸出					
4	6/20	県外での高知県農産物流通			〃	〃	
5		大消費地での高知県農産物流通					
6		大消費地での競合産地と販売					
7	6/23	市場外流通論			〃	〃	
8							
9							
10	7/10	農産物の鮮度低下のメカニズム			〃	〃	
11		農産物鮮度保持の方法					
12		高知県農産物の鮮度保持技術					
13	10/31	市場外流通販売技術（価格設定）			演習	中庭	
14		市場外流通販売技術（表示、陳列）					
15		市場外流通販売技術（代金回収）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、レポート					
教材							
備考							

授業科目名		園芸各論Ⅱ					
学科	園芸	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		園芸の専攻分野にかかる代表的な品目及び養蜂に関する、主に経営及び産業構造について学ぶ。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	5/16	養蜂について（蜜の精製）				講義	化学室
2		養蜂について（蜜蝋の精製と用途）					
3		養蜂について（飼育衛生、蜂群管理等規則）					
4		園芸品目の栽培、流通、経営について				〃	講師指示
5		〃					
6		〃					
7		〃				〃	〃
8		〃					
9		〃					
10		〃				〃	〃
11		〃					
12		〃					
13		〃				〃	〃
14		〃					
15		〃					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、筆記試験					
教材							
備考		4以降は専攻別を実施します					

授業科目名		家畜栄養学Ⅱ					
学科	畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	内部講師						
内容		家畜の栄養と資料について理解し、家畜飼養についての基礎知識を得る。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1		ビタミン概論			講義	第3教室	
2		水溶性ビタミン(VB群)					
3		水溶性ビタミン(VC)					
4		脂溶性ビタミン(VA)			講義	第3教室	
5		脂溶性ビタミン (VD, VE, VK)					
6		食物繊維と生体調節機能					
7		ミネラル概論			講義	第3教室	
8		ミネラルと生体金属元素					
9		生化学物質の概要と結合					
10		アミノ酸とタンパク質の合成			講義	第3教室	
11		炭水化物と多糖の構造					
12		アミノ酸代謝、グリコーゲン代謝					
13		脂肪酸、グリセリン、核酸の概要			講義	第3教室	
14		脂肪酸の合成と分解					
15		ヌクレオチド代謝（転写、タンパク質合成、RNAと逆転写）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		受講態度、筆記試験					
教材							
備考		日程は講師が指定します。					

授業科目名		家畜生理解剖Ⅱ					
学科	畜産	学年	1	時間	15	単位数	1
講師	ノムラファーム						
内容		家畜動物である哺乳類の細胞についてその生理的機能と分化について学び、器官のつながりを理解することで生命維持機能を理解する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	11/26	動物細胞の構成				講義	第3教室
2		骨組織細胞					
3		筋組織細胞					
4	12/3	感覚器細胞				〃	〃
5		消化器細胞(消化器官)					
6		消化器細胞(内分泌器官)					
7	12/10	泌尿器細胞				〃	〃
8		呼吸器細胞					
9		心臓細胞、血管・血液・体液細胞					
10	12/17	リンパ性器官、胸腺、脾臓細胞				〃	〃
11		雄性生殖器細胞					
12		雌性生殖器、乳腺細胞					
13	12/24	卵巣、精巣細胞				〃	〃
14		外皮細胞					
15		器官のつながり					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法							
教材							
備考							

授業科目名		家畜衛生学					
学科	畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	畜産試験場						
内容		家畜の疾病と治療、防疫について学ぶ。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	6/10	動物病理の基礎			講義	畜産試験場	
2		動物疾病の予防					
3		ワクチン					
4	6/12	家畜伝染病予防 1			〃	〃	
5		家畜伝染病予防 2					
6		家畜防疫指針					
7	6/19	牛の病気(感染症)			〃	〃	
8		牛の病気(伝染病)					
9		牛の病気(届出伝染病、新疾病)					
10	6/27	豚の病気(感染症)			〃	〃	
11		豚の病気（寄生虫、人畜共通病原体）					
12		豚の病気(届出伝染病)					
13	6/30	ニワトリの病気（概論）			〃	〃	
14		ニワトリの病気（鳥インフルエンザ）					
15		鳥インフルエンザ対応について					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度、筆記試験・レポート					
教材							
備考							

授業科目名		動物福祉論					
学科	畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	外部講師、内部講師						
内容		家畜動物を題材に動物個体及び群れの行動について理解を深め、飼育への活用について考える。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	7/1	家畜動物の生態				講義	図書室
2		畜産科の歴史と日本畜産の概要					
3		動物福祉発達の歴史					
4	7/7	産業動物のアニマルフェアの現状と課題				〃	〃
5							
6							
7	7/10	日本のアニマルフェアの現状と課題				〃	〃
8							
9							
10	7/15	家畜動物の相互作用				〃	〃
11							
12							
13	7/22	家畜動物のコミュニケーション				〃	〃
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度、筆記試験・レポート					
教材							
備考							

授業科目名		畜産物流通論					
学科	畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	外部講師、高知県畜産会						
内容		輸入農畜産物の増加による影響、その価格形成、流通システムを理解し、効率的な生産流通体系を考えることができるようになる。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	7/9	生乳の用途別処理量、乳価の仕組み				講義	図書室
2		クォーター制度					
3		乳業工場、ユーザーの価格需要範囲					
4	7/18	4P（流通、製品戦略）				〃	〃
5		牛肉の生産と流通経路					
6		畜産物の国内自給率					
7	9/5	牛肉の小売り、精肉流通				〃	〃
8		牛肉の形態化と歩留り					
9		豚肉の輸入とセーフガード、FTA、EPA					
10	9/12	豚肉の需要動向				〃	〃
11		豚肉の価格安定制度					
12		4P（価格、プロモーション戦略）					
13	9/19	鶏卵消費と価格動向（エッグサイクル）				〃	〃
14		ブロイラーの流通と市場、インテグレーション					
15		飼料の輸入価格					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度、筆記試験・レポート					
教材							
備考							

授業科目名		畜産各論Ⅱ					
学科	畜産	学年	2	時間	15	単位数	1
講師	養蜂組合、内部講師						
内容		各家畜にかかる概論や関連する情勢等を学ぶ。特にウシ、ブタ、ニワトリを中心に概論を再整理する。					
回数	月日	内容				方法	場所
1	5/16	養蜂について（蜜の精製）				講義	化学室
2		養蜂について（蜜蝋の精製と用途）					
3		養蜂について（飼育衛生、蜂群管理等規則）					
4	6/13	ウシについて（ヒトとの関わり）				〃	図書室
5		ウシについて（起源と家畜化）					
6		ウシについて（生態、繁殖）					
7	6/20	ブタについて（ヒトとの関わり）				〃	〃
8		ブタについて（起源と家畜化）					
9		ブタについて（生態、繁殖）					
10	6/23	ニワトリについて（ヒトとの関わり）				〃	〃
11		ニワトリについて（起源と家畜化）					
12		ニワトリについて（生態、繁殖）					
13	6/24	ウマについて（起源と家畜化）				〃	〃
14		ウマについて（厩舎と競馬場）					
15		ウマについて（競走馬と競馬論）					
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
評価方法		授業態度（40点）、筆記試験（60点）					
教材							
備考		4～15は畜舎管理の状況により日時、場所を設定します					

授業科目名		先進農家留学研修					
学科	園芸・畜産	学年	2	時間	302	単位数	10
内容		先進農家に派遣し、農業現場を体験することで、栽培の実践技術や経営感覚を身につける。					
回数	月日	内容			方法	場所	
1	10/15	受入式(農村社会での挨拶、文化を知る)			実習	先進地	
2	10/16	地域の概要(地域の地理、交通、土地の名称を学ぶ)			〃	〃	
3	10/17	〃 (地域の気象、植生、水資源環境を学ぶ)			〃	〃	
4	10/18	〃 (地域の文化、用語等を学ぶ)			〃	〃	
5	10/20	〃 (地域のコミュニケーション、人脈等を学ぶ)			〃	〃	
6	10/21	圃場の管理(圃場の配置を学ぶ)			〃	〃	
7	10/22	〃 (圃場の気象条件を学ぶ)			〃	〃	
8	10/23	〃 (圃場の土壌を学ぶ)			〃	〃	
9	10/24	作物の管理(栽培管理の実践力を習得する)			〃	〃	
10	10/25	〃 (作物の整枝剪定管理について学ぶ)			〃	〃	
11	10/27	〃 (作物の灌水管理について学ぶ)			〃	〃	
12	10/28	〃 (作物の生育診断について学ぶ)			〃	〃	
13	10/29	〃 (作物の施肥診断について学ぶ)			〃	〃	
14	10/30	〃 (作物の生育と気象環境について学ぶ)			〃	〃	
15	11/3	〃 (施肥灌水管理について学ぶ)			〃	〃	
16	11/4	病虫害の管理(病虫害の診断能力を習得する)			〃	〃	
17	11/5	〃 (病虫害防除の実践力を習得する)			〃	〃	
18	11/6	〃 (病虫害の発生抑制条件を学ぶ)			〃	〃	
19	11/7	施設の管理(栽培環境コントロールの実践力を習得する)			〃	〃	
20	11/8	〃 (施設の温度管理を学ぶ)			〃	〃	
21	11/10	〃 (施設の湿度管理を学ぶ)			〃	〃	
22	11/11	〃 (施設の補光、加温管理を学ぶ)			〃	〃	
23	11/12	〃 (施設の炭酸ガス管理を学ぶ)			〃	〃	
24	11/13	収穫物の管理(出荷、選別の実践力を習得する)			〃	〃	
25	11/14	〃 (出荷、選別の実践力を習得する)			〃	〃	
26	11/15	〃 (収穫物保管の実践力を習得する)			〃	〃	
27	11/17	労働力の管理(実践的な作業時間を習得する)			〃	〃	
28	11/18	〃 (作業の効率化を学ぶ)			〃	〃	
29	11/19	〃 (雇用労働力について学ぶ)			〃	〃	
30	11/20	〃 (作業安全について学ぶ)			〃	〃	
31	11/21	経営の管理(目標設定について学ぶ)			〃	〃	
32	11/22	〃 (収支把握について学ぶ)			〃	〃	
33	11/24	〃 (マネジメントについて学ぶ)			〃	〃	
34	11/25	農業を取り巻く情勢と課題について整理			〃	〃	
35	11/26	終了式(成長の評価を受ける)			〃	〃	
36	11/27	振り返り			〃	〃	
37	11/28	〃			〃	〃	
38	12/1	〃			〃	〃	
39	12/2	報告会			〃	〃	
40	12/3	レポート仕上げ			〃	〃	
評価方法		実習記録、レポート、留学研修発表成績、受入農家による評価					
備考		1及び35は4時間、36～40は6時間、他は8時間を基準とします					

令和7年度高知県立農業大学校授業態度評価基準

評価点	3	2	1	0 (場合によっては退席指示)
傾聴姿勢	積極的な受講が見取れる (例) ・講師からの質問に発言したり自ら質問する ・講義に頷くなど反応を示している ・メモを取ったり、資料に線を引きながら受講する	失礼のない傾聴態度を示す (例) ・他人の発言や意見も傾聴している ・講師が指示した資料を見る ・指名されたら答える意志を見せる	積極的にアピールはしないが外観から受講の意志がないことがわかる (例) ・常にうつむきメモも取らない ・指名されても「わからない」で済ませる ・内職をしたり関係ない絵を延々描いている	受講しない態度を露わにしている (例) ・机に伏せて寝ており、起こしても応じなかったりまたすぐに寝る ・積極的なスマホいじりやイヤホンをして受講している ・声のトーンを落とさない私語
受講姿勢	社会人として通用する姿勢を保っている (例) ・椅子に浅く腰掛け、背筋を伸ばしている ・足は組んだり貧乏ゆすりをせず机の下に収めようとしている ・手は机の上に置いて勉強のために使っている	学生として講師に失礼ではない受講姿勢を保っている (例) ・概ね身体を起こしている ・足を組んだり貧乏ゆすりはあるが、机の下に収めようとしている ・ペン回しや手遊びは短時間に止めている	意図的ではないが受講にふさわしくない姿勢がある (例) ・身体を後ろに倒し腕組みをして受講する ・全く講師の方を見ない ・足を横に投げ出したり、頬杖をついて受講する	講師に失礼な姿勢を取っている (例) ・身体を机の上に倒して受講している ・講師に声をかけられなくても無視する ・フードをかぶって受講している
講師への敬意	講師を敬う姿勢、学ぶ環境に感謝の姿勢を見せている (例) ・講師の入退出時に自ら挨拶ができる ・資料や教科書は授業ごとに持ち帰る ・勉強道具や教室を大切に扱っている	学生として講師を敬う姿勢は見せている (例) ・講師が挨拶をすれば返す ・講師の指示や注意は守る ・常に着席し、トイレや連絡は休み時間に済ませようとしている	授業妨害はしないが、講師や環境への敬意は見えない (例) ・講師の挨拶を返さない ・無断で缶コーヒーを机の上に出して飲んでいる ・勉強道具や教室備品を乱暴に扱ったり足蹴にしている	講師を馬鹿にする態度を見せる (例) ・もった資料を眼前で捨てて帰る ・講師へのタメ口、罵倒 ・無断離席等授業進行の妨害

※各時限の評点の和 (30回授業の場合は半分) を、その科目の授業態度点とする。40点を超えた場合、合計100点を上限に筆記試験の得点に上乗せをする。

